



神奈川県民ホール小ホール

演奏：アンサンブル・ノマド  
Ensemble NOMAD



世界は交流する

2004年12月11日(土) 15:00開演



呼び交わす世代

2005年2月26日(土) 15:00開演

企画監修



すべてをのりこえようとする  
若い力と自由な精神に期待したい。 一柳 慧



先人の革新に挑発された若い作曲家達は、  
私たちアンサンブルと聴衆の経験に  
どのような刺激をもたらしてくれるか、わくわくします。 佐藤紀雄

何もかもが新しく生まれ変わっているはずの21世紀。

「音楽」は「ゲイジツ」は変わったか!?

神奈川県民ホールが生まれた30年前

当時20~30代であった20世紀の巨匠たちは、芸術表現の革命を宣言した。

その時代に生を受け、いま20~30代を生きるアーティストたちが立つ現在地点は?

『漂流者』を名乗る「アンサンブル・ノマド」とともに

6人の気鋭の「現代音楽作曲家」たちを迎えて神奈川県民ホールが放つ

巨大な疑問符・・・『何が変わったのか?そして、変わらなかったのか?』

開館30周年を記念し、真面目に軽やかに取り組む演奏会。

「私達は、地図のどこらへんにいるのか?」

主催・お問い合わせ 神奈川県民ホール【(財)神奈川芸術文化財団】

〒231-0023 横浜市中区山下町3-1 TEL.045-633-3686 FAX.045-641-3184

プロデューサー:永井健一 制作担当:井上・伊藤

<http://www.kanagawa-kenminhall.com>

## 世界は交流する

2004年12月11日(土)15:00開演

### 【プログラム】

・藤倉 大: 乗り捨てられた時間 新作世界初演

Dai Fujikura : Abandoned Time

・ペーター・ガン: アンサンブルのための新作 世界初演

Peter Gahn : new work for chamber ensemble world premiere

・朴 銀荷: 死者のロープ 新作世界初演

Park Eun-Ha : Dead Man's Rope new work world premiere

・スティーヴ・ライヒ: カム・アウト【1966】(ダンスカンパニー・ローザスのビデオ作品「F A S E」より上映)

Steve Reich : Come Out

・ストラヴィンスキー: 日本の3つの叙情詩【1912~3】(山部赤人、源當純、紀貫之の短歌による)

Igor Stravinsky : 3 Poesies de la lyrique japonaise

・一柳 慧: 弦楽四重奏曲

Toshi Ichiyonagi : String Quartet

(曲順不同)

## 呼び交わす世代

2005年2月26日(土)15:00開演

### 【プログラム】

・鷹羽弘晃: 新作世界初演

Hiroaki Takaha : new work world premiere

・可知奈尾子: Liberation ~ For 9 Players 新作世界初演

Naoko Kachi : Liberation ~ For 9 Players new work world premiere

・原田敬子: 独奏フルートと室内楽のための新作(2005) 世界初演

Keiko Harada : new work for solo flute and chamber ensemble (2005) world premiere

・武満 徹: マスク~2本のフルートのための【1959】

Toru Takemitsu : MASQUE for two flutes

・ジョン・ケージ: 彼女は眠っている【1943】

John Cage : She is Asleep : Duet for Voice and Prepared Piano

・ジョルジオ・タッカーニ: 冬の歌(ヴァイオリンとテープと電子音のための)【1995】

Giorgio Taccani : CHANT D'Hiver ( for Violin, Tape and live electronics)

(曲順不同)

\*全ての新作は財団法人神奈川芸術文化財団による委嘱作です。

\*All new works are commissioned by Kanagawa Arts Foundation.

### 【チケット好評発売中!】

一般券 3500 円 学生券 2000 円 2回セット券 6000 円

[ [かながわアーツ倶楽部](#) 会員割引あり / 2回セット券は前売りのみ ]

[県民ホールチケットセンター](#) 045(662)8866

[音楽堂チケットセンター](#) 045(263)2255

<http://www.kanagawa-kenminhall.com>

[ 一般券のみ取り扱い ]

チケットぴあ 0570(02)9990

イープラス(パソコン & ケータイ) <http://eee.eplus.co.jp>

主催 神奈川県民ホール[財団法人神奈川芸術文化財団]

未就学児童のご入場はご遠慮下さい。 曲目、演奏者は変更されることがあります。予めご了承下さい。

主催・お問い合わせ 神奈川県民ホール【(財)神奈川芸術文化財団】

〒231-0023 横浜市中区山下町 3-1 TEL.045-633-3686 FAX.045-641-3184

プロデューサー: 永井健一 制作担当: 井上・伊藤

<http://www.kanagawa-kenminhall.com>

## ●Artists Profile

### アンサンブル・ノマド

#### Ensemble NOMAD

1997年ギタリスト佐藤紀雄によって結成された注目のアンサンブル。若手の才能ある演奏家が集まり、核になる14人にゲストを交えたメンバーによるフレキシブルな編成で、様々な曲に対応。斬新なアイデアによるプログラムで「NOMAD」（遊牧民、漂流の）の名称に相応しく幅広いレパートリーを自在に採り上げ、20世紀と現代の作品を演奏する。98年4月から2年10回にわたり開催された定期演奏会が内外から高い評価を得ており、特に02年度第1回の「ケージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する空想の往復書簡」



は特に高く評価され、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を受賞した。また近藤譲個展、細川俊夫のオペラ《リアの物語》、99年新国立劇場ダンスアクトロン NO.2、平林和子作品《ファウスト》をオランダの作曲家 M.v.デル・アーによる曲で世界初演。東京オペラシティの「コンポージアム」や、サントリーホールの「サマーフェスティバル」では、各国から持ち寄られる新進作曲家の最新作のコンサートに出演、世界の「現在」を鮮やかに伝える。結成以来、海外との交流も盛んで、2000年にはオランダ、ベルギーに招かれ演奏。01年オランダ現代音楽センターガウデアムス主催による東京での「HOLLAND MUSIC DAYS IN TOKYO」に出演し、オランダと日本の音楽を演奏。02年には東京の夏音楽祭で、ハンス・ツェンダーの「創造的翻案」による《冬の旅》に出演し当代屈指のテノール歌手クリストフ・プルガルティエンと共演する一方、世界の音楽界でも大きな話題となった「ポリーニ・プロジェクト 2002 in 東京」において、アーノルド・シェーンベルク合唱団と共演するなど、特筆に値する数々の公演に招かれた。また03年にはベネズエラの国際音楽祭「フェスティバル・アテンボ」に招かれ2度の演奏会を行う。CDは、近藤譲作品集「梔子」(ALCD-47)「空の眺め」(ALCD-57) 石田秀実作品集「神聖な社の湿り気を運ぶもの」(ALCD-60)が発売されている。

#### 主要メンバー構成

佐藤紀雄(音楽監督・Cond & G) 西沢幸彦・木ノ脇道元(Fl) 菊地秀夫(Cl) 野口千代光(Vn) 甲斐史子・須田祥子(Va) 菊地知也(Vc) 山本修(Cb) 宮本典子・加藤訓子(Pc) 中川賢一・稲垣聡(Pf) 吉川真澄(Vo)

## 新作を発表する作曲家たち

2位。これまでにロンドン・シンフォニエッタほか多くの演奏家に作品が演奏されているほか、2005年ルツェルン音楽祭委嘱のオーケストラ作品が2005年ブレーズ指揮で初演予定。

### ペーター・ガーン (Peter Gahn)

ドイツ、デュッセルドルフ出身。16歳よりケルン音大で作曲とコンピュータ音楽をK.パーロー、作曲をK.マイヤー氏等に、エッセン芸大で作曲をN.A.フーパー、電子音楽をL.ブルンマーに師事。96年同大学院を修了。97年日本文科省、ドイツDAAD奨学生として来日、東京芸大大学院にて近藤譲、南弘明氏に師事。ICMC香港1996、ISCM・World Music Days 2001 in Yokohama、2004年アンサンブル・モデルン7・Nachwuchsforum等で国際入選。室内楽、電子音楽作品の他、現代舞踊、ビデオアート、京劇、能とのコラボレーション等活発な創作活動を行い、作品は欧州、アジア、南米等各国のフェスティバル、FM等で紹介されている。洗足学園音大・東京芸大非常勤講師。

### 朴銀荷 (Park Eun-Ha)

ソウル生まれ、淑明女子大卒業および同大学院、東京芸大大学院修了。現在エリザベト音大大学院作曲博士課程在籍中。近藤譲、松下功、崔承俊の各氏に師事。安益泰作曲賞、日本音楽コンクール1位、安田賞受賞。オーケストラ・室内楽作品は韓国、日本、香港、台湾、インドネシア、イタリア、ロシア等で演奏される。人間内面の霊的側面を表す音楽的傾向に関心を置く。2004年現在オーケストラと合唱に特に関心がある。

### 鷹羽弘晃 (Hiroaki Takaha)

2001年桐朋学園大作曲理論科卒業。作曲を三瀬和朗、権代敦彦、ピアノを三瀬和朗、ローラン・テシュネ、藤井一興、指揮を小泉ひろし、秋山和慶の各氏に師事。99年日本音楽コンクール入選。主な作品に2002年ヴェネツィア・ビエンナーレ委嘱の「H2O」『新しいうたを創る会』委嘱「ことのはひらひら」「あらべすく」などがある。ピアノ演奏では99年日本室内楽コンクール1位。ピアノ、指揮で邦人作品の初演を多く手がけている。

### ○可知奈尾子 (Naoko Kachi)

愛知県立芸大卒・同大学院修了。86~91年作曲家グループ「Growing Oval」を結成し活動を行うほか、名古屋テレビ、東海ラジオからの委嘱作曲、名古屋フィルメンバーとの作曲・編曲・演奏活動などを行う。98年桐朋学園大科目履修生修了。2000年文化庁舞台芸術奨励賞佳作受賞。ISCM・World Music Days 2001 in Yokohama入選。02年芥川作曲賞ノミネート。現在、愛知県立芸大・名古屋音楽学校非常勤講師。カーネギーメロン大=ダルクローズリトミック国際セミナーで作曲理論講座担当。日本現代音楽協会・日本作曲家協議会会員。

### ○原田敬子 (Keiko Harada)

93年桐朋学園大研究科修了。在学中より頻りに渡欧し、各国の音楽家と学ぶ。作品は国内外の音楽祭やセミナーなどのほか、北米、欧州、豪などの現代音楽アンサンブルや、演奏家の指名により、広く委嘱を受けている。これまでに日本音楽コンクール第一位、安田賞、E.ナカミチ賞、山口県知事賞、芥川作曲賞、中島健蔵賞ほかを受賞。また国際交流基金、日加基金、朝日新聞文化財団、野村国際文化財団、日米芸術交流プログラムなどから助成を受けている。映画、演劇、ダンスなどの新曲も多い。また作曲フォーラムやアンサンブルモデルンアカデミー (IEMA) 等のプレゼンターも務める。自作品集CDは、近年2枚がリリースされている (ベルギーCypres社とフォンテック社)。93年より桐朋学園に勤務。静岡音楽館AOI講師。

### 藤倉 大 (Dai Fujikura)

15歳で単身渡英。トリニティ音大でランズウィックに、修士を英王立音大でロックスバラに、博士をロンドン大キングスカレッジでベンジャミンに師事。セロッキ国際作曲コンクール、ハデスフィールド国際音楽祭コンクール、C.トーマス国際フルート作曲賞などで優勝。2000年小オペラ「This Could Be Beautiful?」がホクストン・ホールで上演。2003年武満徹作曲賞

問い合わせ 神奈川県民ホール【(財)神奈川芸術文化財団】

横浜市中央区山下町3-1 TEL.045-633-3686 FAX.045-641-3184

プロデューサー:永井健一 制作担当:井上・伊藤

<http://www.kanagawa-kenminhall.com>